

第五次開成町総合計画素案に対するご意見と回答

No.	ご意見	回 答
1	<p>(1) 数値目標の設定 計画（詳細施策）に数値目標を設定することで、優先度を見極めた施策の選択、行政評価による成果の明確化、効果的な財源配分が可能となることから、計画（詳細施策）には数値目標が必要不可欠と考えるがどうか。</p> <p>(2) 行政機能の充実（素案 P56-P58） 全ての自然災害に耐え得る建物など存在しないことから、役場庁舎（ハード）の建設より行政機能の維持（ソフト）の充実を図った方がよいのではないか。</p>	<p>(1) について 計画案の策定過程において、可能な限り計画（詳細施策）の達成度を計る指標を設定していきます。 また、実施計画においては、事業ごとに指標を設定する予定です。</p> <p>(2) について 役場庁舎は、昭和 45 年に竣工し、老朽化が著しいことから、大規模な地震が発生した場合に、損壊などの大きな被害が発生することが想定されることから、第五次開成町総合計画の実施計画に位置付けたうえで、計画的に役場庁舎を整備していきたいと考えています。 なお、災害応急活動の拠点として役場庁舎を整備することによって、町民サービスの向上の視点からも行政機能の充実が図れるものと考えています。 なお、役場庁舎の整備手法等の詳細については、パブリックコメント制度などを活用し、町民の皆さまのご意見を伺いながら、検討していきたいと考えています。</p>

No.	ご意見	回 答
2	<p>安全・安心な道路の整備（素案 P42-43）</p> <p>町道 235 号線改良事業が都市計画道路と並行する形で進められている。町道 235 号線周辺は既に住宅が建築されており、買収等で立ち退きを進めることも、地権者の数を見ると不可能である。</p> <p>また、道路周辺の安全や環境アセスメントも実施されていない中で、過去に立案された事業を進めることは、税金の無駄遣いである。</p> <p>町道 235 号線改良事業中止を提案する。</p> <p>代案として、富士フィルム北側の畑地を購入、道路化することを提案する。</p>	<p>本町では、現在、町道の未整備区間について、優先的に整備する路線の抽出作業を行っており、財政状況を見極めながら、緊急性や必要性の高い路線・区間について、第五次開成町総合計画の実施計画に位置付けたうえで、計画的・継続的に整備していきたいと考えております。</p> <p>町道 235 号線は、小田急線開成駅のアクセス道路として高い利便性を確保する必要があります。また、日常生活や社会基盤活動を支える主要な生活道路であるとともに、都市防災やライフラインなどの施設の収容といった役割を果たしています。</p> <p>都市計画道路山北開成小田原線の開通によって、交通量の更なる増加が見込まれることから、狭あい箇所の拡幅整備を進め、道路の安全性・利便性の向上を図っていきたいと考えています。</p> <p>今後も地域における説明会を実施し、沿道地域の皆さまの御理解と御協力を得ながら、事業を進めていきたいと考えています。</p> <p>なお、環境アセスメントの対象事業には該当しないことから、実施しません。</p>

No.	ご意見	回 答
3	<p>(1) 計画的な土地利用の推進 (素案 P41-42)</p> <p>地籍調査の迅速な実施が必要であると考えerがどうか。</p> <p>(2) 安全・安心な河川・水路の整備 (素案 P43-44)</p> <p>酒匂川の治水について、町として状況を把握するとともに、河川管理者である神奈川県と連携し、河床を下げるなどの対策を講じる必要があるのではないか。</p> <p>また、町内各所の「かすみ提」については、その機能を復活し、先人の偉業として後世に伝える必要があるのではないか。</p>	<p>(1) について</p> <p>地籍調査は、一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量するため、膨大な時間を要するものですが、第五次開成町総合計画実施計画に位置付けたうえで、人口集中地区を優先しながら、引き続き事業を進めていきたいと考えています。</p> <p>(2) について</p> <p>本町では、安全・安心な河川・水路の整備を進めるため、河川の状況について把握するとともに、毎年度、神奈川県に対して、神奈川県町村会を通じて、河川改修の要望を提出しています。</p> <p>現在の酒匂川の河床の状況は、松田町と開成町にかかる十文字橋を境に、上流では概ね低下傾向となっており、下流の小田原市域では概ね堆積傾向となっています。</p> <p>そのため、神奈川県では、平成18年度から、堆積している箇所です砂を掘削し、海岸養浜に利用するとともに、護岸などの安全性を確保するために、深く掘れている箇所に埋め戻すといった河床整理を実施しています。</p> <p>神奈川県では、財政状況を勘案しつつ、河床変動の状況及び傾向を把握した中で、順次河床整理を行っていくとのことですので、本町としても神奈川県に対して引き続き要望していきたいと考えています。</p> <p>なお、平成24年4月に松田土木事務所と小田原土木事務所が統合されたことにより、酒匂川流域の治水対策はより強化されたものと認識しています。</p> <p>また、かすみ提については、急流河川の治水方策としては、非常に合理的な機能であると認識しておりますが、機能を復活させるためには、河川管理者である神奈川県との協議、地域における合意形成、多額の費用負担などが必要となることから、今後研究を進めていきたいと考えています。</p>

No.	ご意見	回 答
3	<p>(3) 公共交通の充実 (素案 P48-49) 瀬戸屋敷にアクセス可能なバスの運行が必要ではないか。</p> <p>(4) 観光の推進 (素案 P52-53) 文命東堤・西堤、岩流瀬、春日森、文命用水、かすみ提、酒匂川土手の松並木の公園化など、観光資源として整備してはどうか。</p> <p>(5) 効率的な行財政運営の推進 (素案 P55-P56)</p> <p>① 職員の人材育成においては、専門性の高い教育が必要ではないか。</p> <p>② 行政事務におけるGIS (地理情報システム) の活用について検討してはどうか。</p> <p>(6) 広域連携の推進 (P58-59) 国、県、近隣市町村と普段から職員の交流が必要ではないか。</p>	<p>(3) について 第五次開成町総合計画基本計画では、公共交通の充実の一環として公共交通空白地域の解消をめざしていることから、バス路線の検討にあたっては、瀬戸屋敷へのアクセスについても検討していきたいと考えています。</p> <p>(4) について 文命東堤・西堤、岩流瀬、春日森、文命用水は、南足柄市及び山北町に所在することから、本町として整備することはできません。 かすみ提については、3の(2)に記載したとおり河川管理者である神奈川県との協議、地域における合意形成、多額の費用負担などが必要となることから、今後研究を進めていきたいと考えています。 酒匂川土手の松並木についても、神奈川県が管理していることから、本町として整備することは困難であると考えます。</p> <p>(5) について</p> <p>① 職員への専門性の高い教育については、職員研修の一環として実施計画で位置付けていきたいと考えています。</p> <p>② 行政事務の一部では、既にGIS (地理情報システム) を活用しています。 事務の効率化を図るため、引き続き、新たなシステムの構築について、研究を進めていきたいと考えています。</p> <p>(6) について 行政課題の複雑化、高度化が進んでいることから、市町村の枠組みを越えた広域連携の強化が必要であり、広域連携の推進には、日ごろからの職員の交流が必要であると考えています。</p>

No.	ご意見	回 答
3	<p>(7) その他</p> <p>県と連携・協力して、足柄上合同庁舎を平常時には観光や教育（社会科見学）で活用する展望台として、災害時には避難場所として利用してはどうか。</p>	<p>(7) について</p> <p>ご提案いただいた内容について、今後の神奈川県との連携のなかで、検討していきたいと考えています。</p>